

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日：2018年 3月 26日

<p>テーマ名</p>	<p>中小企業に於けるIoT ～ ITコーディネータが考えておくべきこと ～</p>	
<p>届出組織等名称</p>	<p>企業内ITコーディネータ・ITガバナンス研究会</p>	
<p>成果物公開URL</p>		
<p>当活動代表者 及び担当者連絡先</p>	<p>(代表者氏名) 古川 正紀 電話番号:03-5953-6121 e-mail: furukawa@astop-si.co.jp</p>	<p>(担当者氏名) 同左 電話番号: e-mail:</p>
<p>研究・調査 成果概要</p>	<p>「あらゆるモノがインターネットを通してつながる」IoT時代、IoTとは「Internet of Things」の略で、「モノのインターネット」時代がやって来ています。 パソコンやスマホなどの情報通信機器に限らず、すべての「モノ」がインターネットにつながることによって、我々の生活やビジネスが根底から変わるというものです。 IoTでは、従来の企業での情報処理システムやWEBシステムとは大きく異なる点、新たに考慮しなければならない点などが多々あります。 その違いを正確に捉え、中堅中小企業を含む事業者が安心・安全に、IoTが活用出来る必要が在ります。</p> <p>IoTは、様々な分野での用途が期待されており、これまでになかった産業やサービスの創造の可能性を秘めています。一方でセキュリティリスクもこれまでの常識だけでは対応しきれなくなっています。 中小企業のIT経営を支援する立場のITコーディネータは、中小企業経営者が適切な知識、ルールを踏まえて、この有効なツールを活用する支援を行わねばなりません。</p> <p>平成27年9月に閣議決定されたサイバーセキュリティ戦略を基に、平成28年7月には「IoT セキュリティガイドラインver 1.0」が発行されました。 そこで我々は、「IoTを利用し企業の付加価値を高める」ことに関する深い理解と、その実現を支援するための新たな知見を、上記ガイドラインを踏まえ獲得するために、今年度は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IoTを語る上で必要な知識を習得し、新発想の価値創造事例を学び、 ・ IoT 推進コンソーシアム他策定の「IoTセキュリティガイドライン」を十分に読み解き、 ・ ITコーディネータとしての「IoTセキュリティ」に関する知見をまとめ、 ・ 経営者に対して、「ITコーディネータのなすべきことは何か？新しい中小企業のビジネスモデルを創出できるのか？」を論述させて頂きました。 	
<p>成果物</p>	<p>章立ては、 1章はじめに(昨今のIoTブームについて) 2章IoTとは何か 3章IoTを利用するメリット/デメリット 4章データサイエンティストの必要性 5章「IoTセキュリティガイドライン」に従ってIoTを使用するリスクと対策 6章まとめ(ITコーディネータのなすべきこと)</p> <p>とし、ITコーディネータの活用シーンにフォーカスして、論述致します。</p>	

<p>事務局受付日</p>	<p>2018/3/29</p>
<p>案件番号</p>	<p>S17004</p>